

[特集]就職への第一歩。就労移行支援について。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第126号

発行2016.7.17
年4回発行社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

福祉分野では、障害者の就労に関する一般就労と福祉的就労に分けて呼ぶことがあります。一般就労は、障害のある方が企業と雇用契約を結び就労します。特徴の一つとして労働関係法令により最低賃金が保障されることなどが挙げられます。これと対比される形で福祉的就労があります。これは作業所等で就労する福祉サービスとしての位置づけとなり、賃金(工賃)についても一般就労に比べると大きく下回る面があります。

就労移行支援の前身でもある授産施設等では、障害のある方が社会で生活を送れるようにするための通過施設としての目的もありましたが、実際には平成15年の厚生労働省の調査によると授産施設等を出て就職した障害者の割合は全国平均で1.3%にしか過ぎませんでした。障害のある方が企業に就職することはごく稀であり、就職が出来たとしても障害の程度が比較的軽い方や手や足だけが不自由な方などといった傾向がありました。

平成18年10月より一般の企業で働きたいという希望を持っている65歳未満の障害者に対して、作業所を出て一般企業などで働くように支援をする目的で就労移行支援事業の制度が始まりました。これまで、小さな頃から障害を抱えた方にとって、学校を卒業してからの進路は一般企業に就職をしたいと希望をしていても作業所等での福祉的就労を選択せざるを得ない状況もありました。これらの課題から障害があっても地域の中で普通

に暮らすといったノーマライゼーションの理念や関係法令(障害者の雇用の促進等に関する法律)等の改革が推し進められたことは障害のある方にとって大きな希望となりました。

就労移行支援事業は、原則として2年間の期限付き福祉サービスです。一般就労の希望を持っている利用者が企業に就職し、そこで長く勤められることが求められます。そのために限られた時間の中で、ご本人の適性などを知り、知識やマナーを身につけることはもとより、社会へ送り出す支援も重要です。当法人の福祉作業所ひばり園では平成21年より就労移行支援事業がスタートしました。現在まで17名の方が念願であった一般就労を実現し、事業所としても高い就職率を上げることに成功しています。今号の特集では、福祉作業所ひばり園をはじめ羽村市周辺で就労移行支援事業を行っている事業所にも触れながら、その取り組み等についてご紹介します。

就職への第一歩

特集

就労移行支援について



就労準備

ひ=ひばり園
ジ=ジョブスペース游
あ=就労プラザあいあい

あいさつや
返事の仕方など、
基本的なマナーの習得。



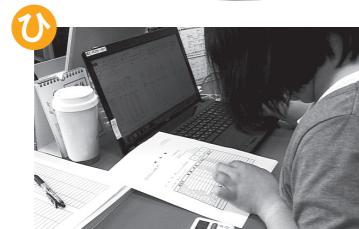
清掃訓練をしています。道具の使い方や手順を覚えることで、場所が変わっても作業が進められるようにしています。また、手順書を理解し、その通りに進められるかも見えています。

的確なタイミングでの報告、連絡、相談ができるよう意識づけ。



使われなくなった車椅子を修理する作業をしています。進捗状況を確認しながらスケジュール通りに作業が進められていることも意識してもらっています。

休憩時間や余暇など、心身を休めるとともに、上手なストレス管理も習得。



伝票入力訓練をしています。時間短縮と入力ミスの無いよう注意して取り組みます。得意なことを伸ばして、自信を持ってもらえることも大事にしています。

事業所への通所を通して、安定した生活リズムの構築。服薬管理と定期的な通院。



千羽鶴を折る作業をしています。きれいに折れないから苦手だと思っていた作業が、定規を利用することでできるようになりました。作業を通して、やれることへの自信を持つことも大事にしています。

自分の作業だけではなく、周囲にも気を配り、リーダーシップや責任感を育む。



根岸 勲
就労移行支援担当
福祉作業所ひばり園

根岸さんの一口メモ

【アセスメント】

ひとつの作業を細かく分析し、得意不得意を確認します。継続することで、その方の習得する速度や特性を知ることができます。また、性格やコミュニケーションのとり方などから、働きやすい職場環境を知ることができます。アセスメントはその方に合った業務内容や職場環境をマッチングさせるだけでなく、求人企業へ利用者をプレゼンするためにもとても重要なことです!

アセスメントで明確になった特性や、訓練を通して得た技能を活かせる業種とのマッチング。

就職活動



履歴書の記入練習をしています。丁寧に書くのはもちろんのこと、志望動機は本人の言葉を使い、人柄が伝わるような書き方のアドバイスをしています。

履歴書の書き方や面接練習で、就職への意欲を相手に伝える。

ハローワーク現地やインターネットを利用して求人情報を集める。

面接練習や体験も兼ねて合同面接会に参加する。

関わりの深い支援者から見た本人の特性やサポート体制のアピール。

職場見学や実習を通して、働く姿をイメージする。



面接や実習にも同行します。身だしなみにも気を配り、緊張する中でも日頃の面接練習で得た礼儀作法や話しかけ、受け答えなどの成果を発揮できるよう、応援します。

根岸さんの一口メモ

【マッチング】

様々な作業や訓練プログラム等でアセスメントした内容をもとに、その方に合った就職先を見つけます。見学や実習を通して企業アセスメントを行います。就職して働いている姿をイメージし、その方にとって安心して力を發揮できる職場かどうかを見極めます。マッチングを見誤ると利用者さんに辛い思いをさせてしまい、企業に不利益を与えてしまうことになります。両者の立場に立って、お互いの利益になる採用につなげます。

定着支援



就職がゴールではなく、安心して働き続けることが大事です。いち早く仕事を覚え、職場になじめるように、地域の支援機関とも連携し、「働き続ける」を応援します。

就職先での障害理解を得られるよう、職場の方への接し方など働きかけを行います。

電話対応や携帯メールでの連絡手段も活用している。



ひばり園の移行支援では年に数回、同窓会などの行事を開催し、就職した人が集まる機会を設けています。がんばっていることや悩み事の共有をし、働き続ける励みになっています。

問題が起きる前、大きくなる前に訪問し、トラブルの芽を摘む。

主な就職先

介護施設などの清掃業務
食品トレーの洗浄
事務補助
食品加工
店舗品出し～倉庫業務
工業部品運搬容器の洗浄等々。



総菜の製造・販売会社に、食品トレーの洗浄作業で就職しました。体を動かすことが得意な彼は、次から次へと運ばれてくるトレーをどんどん洗浄機に入れていきます。



工場内の清掃業務に就職して、間もなく5年が経とうとしています。今では作業リーダーとして、作業の進捗状況を確認し、仲間に指示を出すなど、活躍しています。



運送会社の工業部品運搬容器の洗浄作業に二人揃って就職して、早四年。無理なく勤務の働く姿勢が高く評価されています。毎日社長とハイタッチするほどの愛されキャラになりました。

近隣の就労移行支援事業所

各事業所では利用者を募集しています(平成28年7月現在)。
詳しくは各事業所までお問い合わせください。

福祉作業所ひばり園

施設内の清掃作業や室内軽作業を通してアセスメントとともに、あいさつや返事の仕方などのマナー習得にも力を入れています。利用者さん一人ひとりに週間目標を設定し自信につなげ、就職への意欲を高めることも大切にしています。本人の特性に合った就職先の選定により、定着率も安定しています。

羽村市栄町3-3-1
☎042-555-5512 Fax.042-578-0466

ジョブスペース游

就労継続支援B型の利用者さんと一緒に作業を行う中で、作業リーダーなどの役割を持ち、責任感や仲間への気配り、リーダーシップの習得も重要視しています。また、同法人内の「障害者就業・生活支援センター」と協働して企業実習や面接会に参加するなど、積極的に就職活動をしています。

福生市福生2351-1
☎042-553-2575 Fax.042-551-6759

障害者就労プラザあいあい

作業を受注している企業の社員の方との関わりの中で、挨拶や言葉遣い、コミュニケーションの練習をすることや、体力づくりなどを目的に、利用者さんにも可能な範囲で納品に同行していただいている。また、インターネットでの求人検索を定期的に行い、合同面接会にも積極的に参加しています。

昭島市美堀町3-8-1
☎042-546-6009 Fax.042-519-6061

就職への第一歩
特集 就労移行支援について



平成27年度事業報告概要

本 年度そよかぜは、社会福祉事業3(福祉作業所ひばり園、福祉作業所スマイル工房、指定特定相談支援事業所ゆい)、公益事業1(羽村市障害者就労支援センター エール)、収益事業1(資源回収)の5事業を実施しました。各事業共に、概ね順調に推移しました。そよかぜを取り巻く事業環境では、国において社会福祉法人制度改革を含む社会福祉法の見直しに伴い、経営組織のガバナンス(統治)強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化などが求められ、そよかぜの法人運営にも影響することが予想されることから、関係情報等の収集に努めました。また、法人の中心課題の一つである福祉作業所スマイル工房の移転計画に関連し、移転候補地の選定にある程度の方向性が出てきたことから、当該候補地における施設建物の規模や構造、施設における事業内容等に関する検討を行うなど、移転計画の具体化に向けた事務を進めました。以下に、各事業の実施概況を報告します。

社会福祉事業

福祉作業所ひばり園の就労移行支援(定員6名)では、利用者1名が食品加工会社に就職しました。就労継続支援B型(定員70名)では、主力の自動車・農業機械部品等加工作業の受注量低迷が響き、活動業績は前年度と比較してやや低い水準で推移しました。一方、市指定ゴミ袋パッケージ作業は順調でした。出張所のリサイクルショ

ップくれよんの売り上げもやや低調であり、次年度以降の業績回復が課題です。また、福祉サービス第三者評価を受審し、現状確認と今後の在り方等が明確になりました。福祉作業所スマイル工房(定員20名)では、施設移転計画の具体化に向けた事務を進めました。パン、クッキーの製造販売や室内軽作業などの授産活動は順調に推移し、年度を通した平均利用者通所率が7割(◆)を超ました。指定特定相談支援事業所ゆいは、前年度の準備期間を経て本格的な業務遂行を行いうとともに、【成年後見制度の使い方】をテーマにした学習会も開催しました。◆同種事業所の一般的な通所率は「良くて5割」といわれる。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エールは、本年度の新規利用登録者が18名で、利用登録者数は111名(割合は、知的障害の方が約半数、精神障害の方が3割、身体障害の方が2割)となりました。新規就職者は6名で、仕事内容は事務、事務補助、調理補助、軽作業等でした。

収益事業

資源回収事業は、市民、地元企業等のご協力により、前年度並みの実績が確保できました。施設外支援の場として、ひばり園利用者支援にも貢献できました。

平成27年度 社会福祉法人そよかぜ 決算(資金収支)結果

法人総支出額 ¥228,924,383※

※法人総支出額及び社会福祉事業は内部取引調整後の値

社会福祉事業

総支出額 ¥205,246,193※
89%

羽村市障害者就労支援センター エール
総支出額 ¥20,329,400
9%

収益事業

資源回収
総支出額 ¥4,498,790
2%

社会福祉事業支出内訳

福祉作業所ひばり園
¥168,406,565 80%

福祉作業所スマイル工房
¥37,212,538 18%

法人本部
¥2,554,202 1%

指定特定相談支援事業所ゆい
¥1,880,047 1%

非常時の備えを

熊本地震におきまして被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災後、政府は避難所に行けない多くの障害者の方々に物資や支援が行き渡らなかった教訓から、一般避難所でも障害のある方や要介護の高齢者らの世帯が個室で過ごせるスペースを考慮することなどが求められ、災害対策基本法が改正されました。しかしながら熊本地震では十分に生かされているとは言い難い状況がありました。

これまで震災で多くの尊い命が失われ、障害のある方やその家族が避難所や車中等での生活で困難を強いられ精神的にも肉体的にも疲弊する記事を見る度に心を痛めざるを得ません。

防災科学技術研究所による【地震ハザードステーション J-SHIS】で確認をすると羽村市で今後30年間に震度5以上の揺れに見舞われる確率は67.8%となっています。最低の震度5でも、大半の人が物につかまらないと歩くことが難

コラム「福祉の時をつかむ」

しいなど、行動に支障を感じる状態であり他人事ではないと言えます。地震の研究はすすめられているものの、実際にいつ起こるのかといった予測は難しい状況もあります。

被災された皆様の一日も早い復興をお祈りするとともに皆様におかれましても非常時の備えを今一度、考えていただければと切に願います。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

去る7月1日、昭島のモリタウンに出掛けました。毎日がんばって働いて稼いだボーナスをお財布に入れて、さあ出発! 行きの電車内では「何食べたい? 回転寿司! うどん! クレープ!」、「何買うの? CD! トミカ! 靴!」と、ウキウキワクワク。班に分かれて思い思いに食事や買い物を楽しみました。「トミカ買ったよ!」、「洋服見て!」の声の他にも、「映画楽しかったね!」と、映画を観た班もありました。帰りの電車内では「楽しかったね!」、「またお仕事がんばって来ようね」と、豊かな笑顔に出会えた一日でした。

リサイクルショップくれよん

暑さ吹き飛ばす夏の一斉セールを7/19より予定しています。タンクトップ100円、Tシャツ、帽子200円など目玉商品を多数揃えてお待ちしております。浴衣のご用意もありますので、夏祭りに着てお出かけされてはいかかですか。秋物も出始めます。セール品と併せてご覧下さい。ご提供もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。

●夏期休業8/13(土)~20(日)。

福祉作業所スマイル工房

羽村市公式キャラクター“はむりん”の、はむりんグッズとしてクッキーの販売を始めました。桜とチューリップの形のクッキーをはむりんのパッケージ仕様にしています。第41回はむら夏まつりが7/30~31に開催されます。今年も市民模擬店でジャンボフランクとラムネの販売をしますので是非、お立ち寄り下さい。お待ちして

います。



障害者就労支援センター エール

「エール」は、羽村市より社会福祉法人そよかぜに委託された障害者就労支援事業です。羽村市在住の障害のある方を対象に、就職を希望している方や働いている方等からの相談を受け、支援を行っています。

利用時間：月曜日～金曜日、午前9時～午後5時。今年度の第一土曜日開所は、8/6、9/3、10/1、11/5、12/3、1/7、2/4、3/4です。

※ご相談には予約をお願いします。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

毎号、特集やご近所さんの取材(見学)で、いくつかの事業所にうかがうと、いつも感じことがあります。それは利用者のための支援者の熱意と工夫です。たくさんの経験を積んでも利用者の特性はそれぞれ違うため、トライアンドエラーを繰り返しながら、その人の意思に耳を傾け、最良の選択とは何かを考える。その中で利用者から学ぶことがとても多いそうです。私が話を聞く中で、その支援者から伝わる熱意と、困難を乗り越える工夫、人の声から学ぶことは本当に多いのだなと思うのです。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-555-5512